

●今月の法語カレンダー●

いままで 見ていなかった世界を
見せてくださる 「智慧の光」
東井 義雄 (1912~1991)

一月の法語は、東井義雄先生のお言葉です。先生は兵庫県の本派寺院に生まれられました。住職として、教師として活躍され、また詩人でもあり味わい深い詩をたくさん残されています。

この言葉は、「いのちとのふれあい」(探求社刊)の中に載っている「燼(もえさし)」の一文です。「もえさし」とは、老の荷であり、その荷を背負った人生を有難いと受け取ることが出来るのは、智慧の光がはたらいて下さるおかげです。そのとき今まで見えなかった世界を見せて下さる、とそれはたらしきを喜ばれ、そこに老苦を抱え生きる道があるといわれているのです。今まで見ることの出来なかった世界を見せて下さる「智慧の光」が常に私のためにはたらいて下さっている。なんと有難いことでしょう。合掌とはその喜びの姿なのです。

一月の行事

●元旦会

1月1日(木) 午後2時

初詣はお寺にお参り下さい。

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましょう

●婦人の集い(新年会)

1月10日(土) 午前11時

●仏教講座会

1月20日(火) 午後1時半

講師 加戸利圓師(目黒区)

●ヨーガ教室 各午後12時半

1月14日・28日(水)

二月の行事

●仏教講座会

2月20日(金) 午後1時半

講師 三崎靈証師(福井県)

●婦人の集い

2月10日(火) 午後1時半

○千葉組組連研 2月8日(日)

無量光(ひかり)と

きき

自己を知らされ

無量寿(いのち)に

めざめて

今日とやすらう

釋正念



めでたきこと

新年明けましておめでとうございます。

昨年11月28日前住職が往生浄土の素懷を遂げさせていただきました。その際、皆様から心暖まるお言葉と共に「ご愁傷様」と言われることでありますが、「ご愁傷様」という言葉を広辞苑では「人の不幸に際し、その縁者に同情して言う挨拶の言葉」とあります。私自身の立場で思うと淋しいという思いであります。日頃の如来様のお育てにあらずかる法の立場では、不幸という思いではなく、「めでたきこと」と味あわせていただくことであります。

親鸞聖人のお手紙の中に、「明法御坊の御往生のこと…うれしく候」と言っておられるくんだりがあります。又、和讃には
無始流転の苦をすてて
無上涅槃を期すること
如来二種の回向の
恩徳まことに謝しがたし
と示され、生死の苦海を渡り、光明無量なるおさとの座に参らせていただいたことは本当に「めでたきこと」といただくことであります。
親鸞聖人にお聞きしたならば

「これ以上にめでたきことはいぞ。」とお示し下さることでありましょう。
(住職)

昨年12月3・4日、天真寺前住職 釋正念の通夜・葬儀を営ませていただきました。

多くの御門徒の方々が御多用の中を御焼香くださり、また御懇篤なる御弔意、過分なる御香資を賜りましたこと、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

本年もどうぞよろしく

お願いいたします。

天真寺

住職	西原 恵照
坊守	西原 悦子
前坊守	西原 敏子
衆徒	山口 武典
	西原 静香
	西原 竜哉
総代	大枝 義一
	熊谷 昭二
	松川 正
	篠原 英夫
	大枝 義一
門信徒会長	西原 悦子
仏教婦人会長	西原 悦子

●今月の法語カレンダー●
人生とは その日 その日の
法縁である
金子 大栄 (1881~1967)

二月の法語のことばは、金子大栄先生の『聞思室日記』(昭和五十年、在家仏教協会)に出ています。先生は、明治十四年新潟県高田市(現上越市)の最賢寺に生まれました。真宗大谷大学を卒業し、後には教授に就任、執筆、講演等様々活躍されました。対話の日。客あり法を語る。問とは答となり答は問となる。それは幾度くりかえされても退屈しない。つねに新たな感じをあたえる。またそれはいかに浅くとも、そのままに深きに導かるるものである。人生とはその日その日の法縁である。法話を聞くことが聞法ですが、何か新しいこと、珍しいことを聞きたいと思つて聞くことではありません。心得ることが大切です。私たちの聞法の姿勢として心に留めておくべきことばですね。

二月の行事

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒にのおつとめいたしましょう♪

●仏教講座会

2月20日(金) 午後1時半
講師 二崎靈証師(福井県)

●婦人の集い

2月10日(火) 午後1時半
小さな可愛らしいおひな様を作ります。みなさんどうぞ♪

●千葉組組連研 2月8日(日)

於・正満寺(柏)
午後二時半~五時

三月の行事

○春の彼岸法要

3月20日(土) 午後一時半
講師 和氣良晴師(奈良県)

○婦人の集い

3月10日(水) 午後一時半
お経勉強会の予定です。

皆さんのお参り

お待ちしております。



インド旅行記

天真寺若住職竜哉が、昨年龍谷大学の先生・学友らと共にインドへ行ってきました。その折りの旅行記をご紹介します。

昨年、インドへ仏跡参拝の旅に行つて来ました。お釈迦さまが歩かれた道を辿るといふ、25日間の長い旅でした。お釈迦さま誕生の地ルンビニー(ネパール)から涅槃の地クシナガルまで八大仏跡をほとんど回りました。

お釈迦さまが誕生されたのは紀元前500年頃ですから、それから2500年後に同じ道を僕が歩いている・・・とても不思議な感じがしました。日本というと縄文時代末期くらいになりますね。その時代の人の苦行地(正覚山)、誕生の地(ルンビニー)などなど今でも残り、多くの人々が世界中から絶え間なく訪れるのですから、お釈迦さまという人間を肌でひしひしと感じました。

僕たちが一番初めに訪れたのは、お釈迦さまが「阿弥陀経」を説かれたという祇園精舎でした。みんな初めての仏跡でドキ

活動報告

ドキしていました。そこには西洋風の瞑想をしている人、タイの僧侶の集団などたくさんの方が来ていました。僕たちもそこで阿弥陀経を読みました。阿弥陀経は、舍利弗(お釈迦さまの十大弟子の一人)に向かつて説いた經典ですが、「舍利弗」と何度呼びかけているところを自分の名前に置き換えると、お釈迦さまが自分に呼びかけている気がしました。まるで2500年前にタイムスリップしたようでした。みんなただただ感動していました。朝に宿泊したホテルのお湯が出なかつたということは、もうすっかり忘れていたようでした。(続)

★今年には寒さも厳しくなく、いいお天気のお正月となりましたね。みなさんどのように過ごされましたか。天真寺元旦会では六十名ほどのご参拝の門徒さんと共に、お念仏を味あわせていただきました。法要後は流杯の儀を行い、みなさんでおせちをいただきました。★1月の仏教講座会後には、鏡開きでお汁粉のふるまいがありました。また夕方からは、門信徒会・婦人会の役員の方々の合同懇親会が行われました。

●今月の法語カレンダー●

仏光のもとに われかしこしの
慢心が砕かれ 卑屈の心も洗われる
花田 正夫 (1904~1987)

三月のことばは、花田正夫先生の著『生死巖頭を照らす光』（樹心社）からとられています。先生は明治三十七年（1904）岡山生。医大時代、親友の死にあい、医学ではどうにもならない生死の問題に悩んで中退。その後伯父に手渡された『歎異抄』を通して、生涯の師と出会い、その教えに帰依されました。
光る 光る すべては光る
光らないものはひとつとしてない
みずから光らないものは
他から 光を受けて光る
心して仏さまの願いの起こりを仰がせていただく時、そこに仏さまの眼に写る私の姿が知らされます。私たちは、仏さまの光明に照らし出された自身の愚かさを知って、そのままに仏さまの光明を仰いで浄土への道を歩ませていただきますように。

三月の行事

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましょう

●春の彼岸法要

3月20日（土）午後1時半
講師 和氣良晴師（奈良県）
講題 「ほんものにとせもの」

●婦人の集い

3月10日（水）午後1時半
若住職によるお経勉強会

●仏教婦人一日研修会

3月1日（月）於築地本願寺
*9時松戸駅に集合です。

講師

田代美代子氏（シャンソン歌手）
松倉悦郎氏（元アナウンサー）

●ヨーガ教室 各午後12時半

3月3日・24日（水）

四月の行事

○仏教講座会

4月20日（火）午後1時半
講師 七里順量師（埼玉県）

○婦人の集い

4月10日（土）

○千葉組婦人総会

4月14日（水）



春季彼岸会のお知らせ

日時 3月20日（土）

春分の日

時間 午後一時半より

講師 和氣良晴師

奈良県圓光寺住職

本願寺派布教使

龍谷大学講師

講題

「ほんものにとせもの」

お彼岸とは年二回、春分と秋分の日をはさんで、前後三日間をいいます。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉もあるように、この季節は過ごしやすいく候となるため、仏道修行に適した期間として、日本ではこの間に法会が設けられたのです。

お墓参りの期間ではなく、お彼岸の意味からいえば、何よりも今生きている“私”が仏法を聞かせていただくかなければなりません。ぜひお寺の法要にお参りし、ご聴聞下さい。お待ちしております。

お経勉強会

3月10日（水）婦人の集いにて若住職がお経の勉強会をします。一人で何を読んだらいいの？という節があるの？などなど。お経に関する興味・質問がある方、どうぞご参加下さい。

婦人会員以外の方、また男性の方でも大歓迎です。

連研参加者募集!

連研とは、個別寺院の門徒という枠組みにとらわれず、仏教の教えを多くの人に継続的に学んでいただく目的の連続研修会のことです。天真寺は千葉北ブロックの十ヶ寺に属し、それらのお寺を会所としています。

仏教を学び、共によるこびを分かち合える仲間を見つけてみませんか。

★開催時期

H16年6月～H18年5月の2年

★開催日

偶数月の第二日曜日（計13回）

★時間 午後1時半～4時半

★講師 各寺住職

★参加資格 年令制限なし

★参加費 7千円（テキスト代込）

各寺院からの参加者は2～3名となつていきます。参加申込、また関心・質問のある方、お寺までご連絡ください。

●今月の法語カレンダー●

他力の信心を 獲得するのは
ただ法を聞くという 道しかない
靈山 勝海 (1932~)

今月は靈山勝海先生の『歎異抄 親鸞己れの信を語る』という書物の中の言葉です。
私の「信じる」は頼りになりますか。答えは「いえ」ですね。私の心は愚痴を言い、腹立ち、自分中心でしか物事を考えることが出来ないでいます。その心を基準として判断しても、それが頼りにならないのは当たり前なのです。
ところが「他力の信心」は違います。間違いないという基準は仏さまの基準だからです。そして、その仏さまの願いは私を間違えなく救いとうとう仰せなのです。私はその仰せを聴聞のなかで受け止め続けていく、それが「他力の信心」ということなのでしょう。「ただ法を聞くという道しかない」という言葉は、その聴聞が私の生涯にわたるものであることを示して下さっているのです。

四月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましょう♪
- 仏教講座会
4月20日(火) 午後1時半
講師 七里順量師(埼玉県)
- 婦人の集い
4月10日(土) 午前11時
婦人部総会。新しい方もどうぞ。
- 千葉組仏婦総会
4月14日(水) 千葉県教育会館
- ヨーガ教室 各午後12時半
4月14日・28日(水)

五月の行事

- 門信徒総会・永代経法要
5月16日(日)
講師 吾勝常行師(和歌山県)
総会10時より 法要1時より
- 婦人の集い
5月10日(月) 12時より
お茶会を予定しています。

岩もあり木の根もあれど

たださらさらと水の流るる

さらさらと
甲斐和里子

春季彼岸法要にて

雨が降り、寒い日となりましたが、百名以上のご門徒さんにお参りいただき、無事法要を勤修することができましたこと、ここにお礼申し上げます。

法要後は、奈良より和氣良晴先生においでいただき、「ほんもの」とにせもの」という講題でお話いただきました。ここで紹介します。

ウソで固めたニセモノが私たちの周りにいっぱいいます。周りだけではなく、この私もニセモノなのです。自分の都合次第でどちらにもフラフラと付いていき、ひっくり返ることのない真実には全く逆らって生きています。ニセモノの特徴は一言！ほんものそっくり、ということ。ほんものそっくりでなければニセモノではない、ほんものそっくりだからだまされやすい。ウソをウソと見抜き、ニセモノをニセモノと気づかせる力とはたらきは、真実のみが持ち得るのです。

仏法という「ほんもの」に会うこともなく、ニセモノを掴みながら、ほんものと思ひ込んで人生を過ごすならば、ニセモノはウソがばれてどこかでひっくり返るので、そこから「こんなはずじゃなかった

のに」と、嘆き悔やまねばならない人生こそ、せつかくの人生でありながら空しいのです。

ニセモノをニセモノと知らずに、ほんものと思ひ込み生きている「この私」を、真実のお法りに聴かせていただきましょう。真実をきかなければ、私のウソは、自分のものでありながら、決して知れることはありません。

親鸞聖人は和讃に、
本願力にあひぬれば
むなしくすぐるひとぞなき
功德の宝海みちみちて
煩惱の濁水へだてなし

とお謳いになり、さらに本願のはたらきの真実とは、「うそでなく、そしてひっくり返らないこと」である、とは聖人のお示しであります。

活動報告

★3月の婦人の集いでは、お経の勉強会を行い、17名がご参加くださいました。『正信偈』『らはいのうた』など、皆さんと大きな声で練習しました。

★千葉組組連研参加者募集中！
詳細は先月号をご覧下さい。申込4月20日までお願いします。

●今月の法語カレンダー●
私のあたまにつのがあった
つきあたって折れてわかった
榎本 栄一 (1903~1998)

今月のことばは、榎本栄一師の詩集『群生海』のなかにある「つの」という詩です。
私の頭にある「つの」とは、一体何のことでしょう。「つの」は固い。「つの」は物を傷つける。「つの」と「つの」でケンカをする。私の心の中にある、そんな「つの」。でも私は、なかなかそんな「つの」があることを認めようとはしません。そんな固くて、鋭い、生半可なことでは折れない私の「つの」が、突き当たって折れた。当たった先は、仏さまの心。自分では見えない「つの」も、仏さまの心に触れ、見えてくるのです。
「つの」を抱えた私の心を、仏さまはいつでも見守っていてくださいます。日々のお念仏のなかに、仏さまの智慧の光をいただき、照らし出された私の姿をしつかりと受けとめていきたいものです。

五月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒にとおつとめいたしましょう♪
- 永代経法要・門信徒総会
5月16日(日)
講師 吾勝常行師(和歌山県)
門信徒総会 午前11時より
永代経法要 午後1時より
- 婦人の集い
5月10日(月) お茶会
午後12時半~4時まで
- 仏婦みのり会一泊研修会
5月26(水)~27(木)

六月の行事

- ヨーガ教室 各午後12時半
5月12日・26日(水)
- 仏教講座会
6月20日(日)
午後1時半より
- 講師 塚田博教師(大阪府)
- 婦人の集い
6月10日(木) 午後1時半
- アソカ園ボランティア
6月8日(火)
- 千葉組連続研修会
6月13日(日) 於法善寺



永代経法要

門信徒会総会ご案内

日時 5月16日(日)
時間

総会 午前11時より
法要 午後1時より

講師 吾勝常行師(和歌山県)

元龍谷大学助教授

真宗カウんセリソグの分野で活躍されている先生です。

講題

「心の叫びとよび声」

永代経って?

「えいたいきよう」と読みます。これは「永代読経」の略で、

- ①お寺が護持されること
 - ②そこで子や孫が代々にわたってみ教えを聞き慶ぶこと
- この二つが「永代経」の心です。

み教えを私に伝えてくださったご先祖の遺徳を偲び、何より私自身が仏さまのお話を聞かせていただき、その慶びを子孫に伝えていくーこれが「永代経」です。

また法要に先だち、門信徒会

総会を行います。天真寺は一戸一戸のご門徒さんの手によって支えられています。どうぞこちらにもご出席くださいますよう、お願い致します。どうぞお参りください。お待ちしております。

お茶会のお誘い

5月10日(月) 天真寺
においてお茶会をいたします。時間は、午後12時半より4時までです。

どうぞお気軽においでください。ご希望の方はお寺まで。
(お茶券 二席三百円)

天真寺門信徒会に・・・

【入会まだの方】

新しくご縁のあった方、どうぞこの機会にご入会下さい。

【門信徒会員の方】

会費の納入期限は5月末までです。ご協力お願い致します。

引き続き、千葉組連続研修会にご参加くださる方を募集中です。申込期限は5月20日となります。くわしくはお寺までお尋ね下さい。

●今月の法語カレンダー●

手に合わない 厄介な私の心を
如来の大きな御手に お渡しする
甲斐 和里子 (1868~1962)

甲斐先生は、京都女子大学創設の中心的人物です。『往生ほどの一大事、凡夫の計らうべきにあらず、(略)が、愚痴凡夫の悲しさで、気味の悪いモヤモヤしたモノをいつまでも心の奥に秘蔵して、自分も苦しみ、如来さまをお泣かせ申すのである。が、さて、いつまでも苦しんでもどうにもならぬと解つたとき、はじめて「其のままでもいいぜ」の御喚声をハッキリと心の耳に聞き取りえて「ハイ、それではお言葉に甘えてこのまま御渡し致します。あなたのご随意に遊ばしてくださいませ」と我が手にあわぬ厄介な我が心を、如来様の大きな御手にポンと御渡しするとういう大革命を遂げた後は、父の所詮「誠にこちらは安心千万のことにて候」

六月の行事

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒にのおつとめいたしましょう♪
●仏教講座会
6月20日(日) 午後1時半
講師 塚田博教師(大阪府)
小学校で宗教を教えていらつしやいます。お話ししてみですね!

●門信徒会・婦人会合同旅行
6月25日(金)~26日(土)
●アソカ園ボランティア
6月8日(火)6名お手伝い
新八柱駅改札十時半集合です。

●婦人の集い

6月10日(木) 午後1時半
「念仏者一茶について」
●ヨーガ教室 各午後12時半
6月16日・30日(水)

七月の行事

●仏教講座会
7月20日(火) 午後1時半
講師 加戸利円師(東京都)
○婦人の集い
7月10日(木) 午後1時半

お参り

お待ちしております



門信徒会・婦人会
合同旅行のお誘い

6月25日(金)~26日(土)
一泊二日で長野方面への門信徒会・婦人会合同旅行を計画しております。

善光寺、信仰深いお念仏者であつた小林一茶の記念館、戸隠神社などを観光、また真宗寺院康楽寺様を参拝し、ご住職の案内で貴重な宝物館を見せたいたく予定です。宿泊は赤倉温泉となります。

この機会に天真寺を支えるご門徒さん同士の親睦を深め、楽しくのんびりと旅行致しますよう。

どうぞご都合をお合わせ下さり、ご参加下さい。多くの方のご参加をお待ちしております。

*詳しくは同封の旅行案内をご覧下さい。お申し込みは6月10日までに本会にお申し込み致します。



(一茶の菩提寺 明専寺)

お願い

門信徒会より

先月ご門信徒の皆さまに会費納入のお願いを致しました。納入がまだの方は今月中にお振り込み、またはお寺で受け付けしております。ご協力お願い致します。

婦人会より

本年度婦人会名簿を作成予定です。会費納入がまだの方、または新しくご入会の方、こちらも今月中にお願い致します。

活動報告

★5月16日(日) 門信徒総会・永代経法要が無事勤まりました。ご講師の吾勝先生の分かりやすいお話を皆さんと一緒にご聴聞させていただきました。

★5月10日(月) 初めてのお茶会をいたしました。雨の中70名以上の方がおいでくださり、皆さんと楽しいひとときを過ごしました。



●今月の法語カレンダー●
念仏の道は 如来の開かせたまえる
人間の道である
池山 栄吉 (1873~1938)

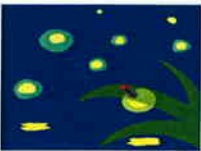
今月は池山氏の著『意識歎異抄』のことばです。『歎異抄』は、近頃流行の「声に出して読んでみたい日本語」の中でも、トップクラスの名文です。氏は波瀾に満ちた人生を生き、やがて『歎異抄』に傾倒、四十二歳に至って、この書によって信心を開発されました。そして生涯、念仏三昧を生きられた方です。親鸞聖人のお示しによると、呪文やおまじないでもなく、また救いの条件でもない。お念仏は私を往生させようと、休むことない阿弥陀さまのはたらきが私の口に現われてくださったものなのです。念仏の道は私のおもいつきで、私が開いた道ではなく、その道は「如来の開かせたまえる道」なのです。「ただ念仏して」と呼びかけられる道、ひたすら浄土にむかっている尊い道の教えへの、池山氏の深い感動がうかがえることばですね。

七月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましょう♪
- 仏教講座会
7月20日(火) 午後1時半
講師 加戸利円師(東京)
- 鑑賞会(婦人の集い振替)
7月3日(土) 森のホール
「金子みすゞの世界」
会場に4時半待ち合わせです。
- 西本願寺公開講座
7月10日(土) 午後3時
於・築地本願 悪人正機

八月の行事

- ヨーガ教室 各午後12時半
7月16日・30日(水)
- 8月16日(月) 午後1時半
孟蘭盆会法要
講師 京都中央仏教学院長
北畠晃融師(大阪)
- 8月18日(水)〜20日(金)
お寺の臨海学校
○8月1日(日)
千葉組連研
お参り
お待ちしております



お盆の迎え方

一部の風習では、精霊棚を作ったり、お膳やお団子をお供えするようです。また、ナスやキュウリを牛と馬に見立てます。これは先祖の霊が乗るための乗り物だそうです。また送り火・迎え火もよく聞きますね。

私も浄土真宗では、そういったことは致しません。一般の法要と同じように、菓子・果物といった供物をご仏前にお供えし、「打敷」(お仏壇の中の花瓶や香炉を置く前卓に敷く、三角形の布)を敷いて下さい。

そもそもお盆とは、仏弟子の目連尊者が餓鬼道に墜ちた亡き母を救おうとして、その母に食物を与えるのですが、救われず、お釈迦さまの導きで衆僧に供養して初めて救われた(その日が七月十五日)という故事から起こった行事です。すなわち、亡き母や特定のご先祖に供物を捧げるといふのではなく、自らが深く仏法に帰依して、限りなき仏さまのおはたらきを仰いでゆく—ということでしょう。

ですから、ご先祖が戻ってくる「日」があるわけではありません。ご先祖への感謝と、仏法を聞くことの大切さを忘れないようにと、先人たちがこのように伝えて下さったものなのです。今年もお盆の時期が近づいて参りました。お盆法要をされる、何か分からないことがある・・・等々、どうぞお寺に気軽に尋ねてください。

鑑賞会のお誘い

7月3日(土) 森のホールで「音楽と詩と愛と」・金子みすゞの世界」鑑賞予定です。金子みすゞさんは山口のご法義厚いご家庭に生まれ、信仰心深いいのちをうたいつづけられた童謡詩人です。皆さんでみすゞの世界を堪能致しましょう。

(7月婦人の集い振替) 門信徒会の方もどうぞ。くわしくはお寺まで。

お寺の臨海学校のご案内

浄土真宗のみ教えに基づき、宗教的な情操を育むとともに、人と人のふれあい、「お寺って楽しい!」と実感してもらいたく、企画されております。お子さん、お孫さん、お誘いください。ご参加をお待ちしています。

日時 8月18日(水)〜20(金)

参加対象者 小3〜中3

宿泊場所 『阿字ヶ浦クラブ』

(茨城県ひたちなか市)

参加費 1万円
(現地までの交通費含まず)

申込締め切り日 7月31日
申込はお寺までお願いします。

●今月の法語カレンダー●

生きている、という事は
決して 私の力ではないのだ
高松 信英 (1934~)

「いのちはなぜ尊いのか」、高松信英氏は、書著『雑草の輝き―歎異抄に学ぶ―』（東本願寺出版部）の中で簡明に述べておられます。「生きている、という事は決して私の力ではないのだ」と。今、私がここに生きている事実を考えても、自分一人の力で生きているものは、ただの一人もいないのです。
お釈迦様は、一切の存在・現象は、全て直接の原因と数多くの間接の原因が、お互いに作用し合って、全ての存在があり、全ての現象が起こる、「縁起の理」を説かれました。ここから生かされて生きているのだから尊いのであると教えていただくのです。
こうして私自身のいのちの尊さに目覚めたとき、初めて他の生きとし生けるものの尊いいのちを生きていることに気づかせていただく。そこにいのちの共感が生まれてくるのではないのでしょうか。

八月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましょう♪
- 孟蘭盆会法要
8月16日(月) 午後1時半
講師 京都中央仏教学院長
北畠晃融師(大阪)
- お寺の臨海学校(茨城県)
8月18日(水) 20日(金)
- 千葉組連続研修会
8月1日(日) 於正満寺(柏)
- ヨーガ教室
今月はお休みです。

九月の行事

- 秋季彼岸法要
9月23日(木) 秋分の日
講師 松林宗恵師(映画監督)
- 千葉組仏教婦人
みのり会研修会
9月13日(金) 於築地
(9月婦人の集い振替)
- 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
9月18日(土) 於国立墓苑

花と見る
花も見ている (浅井成海)

孟蘭盆会法要
ご案内



日時 8月16日(月)
時間 午後1時半より
講師 京都中央仏教学院長
北畠晃融師(大阪府)

今年もお盆の季節となりました。暑い日が続いていますが、みなさんはどのように過ごされますか。

恩に報いる、という報恩の想いはインドの原語に語源をたどると、「なされたことを知る」という意味だそうです。「おかげさま」ということばがあるように、お盆のさまざまな仏事を通して、見えないところでもいろいろと支えてもらっていることに、気づかせていただくのですね。

お盆をご縁として、ご先祖をうやまい、ご先祖がよるこんでこられたお念仏のいわれを聞かせていただきます。浄土真宗のお盆法要は「歡喜会」とよび、私たちがみ教えに遇うよるこびの集いです。

どうぞご家族そろってお寺でご聴聞ください。みなさんのお参りお待ちしております。

門信徒会入会のご案内

天真寺は門信徒会を組織し、多くの方々によって支えられています。

お盆などの年五大法要、毎月のお盆講座、婦人の集いなど、さまざまな活動があります。これらの活動にご協力・ご参加下さいませよう、門信徒会への入会をお願いしております。

入会がまだの方、どうぞお盆法要の日にお申し込み下さい。年会費は3千円、毎月仏教冊子・法要案内の寺報等お送りします。

京都念仏事仕団のお誘い

北陸めぐり・伝承1300年の名旅館「法師」に泊まる旅
日程 10月27日(水)〜29日(金)
旅行方面 京都・北陸方面
宿泊 粟津温泉(石川県)
代金 お一人66,800円
締め切り日 8月31日(火)
お寺に案内があります。そちらをご覧ください。多くの方のご参加をお待ちしております。

*お盆法要の日は駐車場が混雑します。ご協力お願い致します。